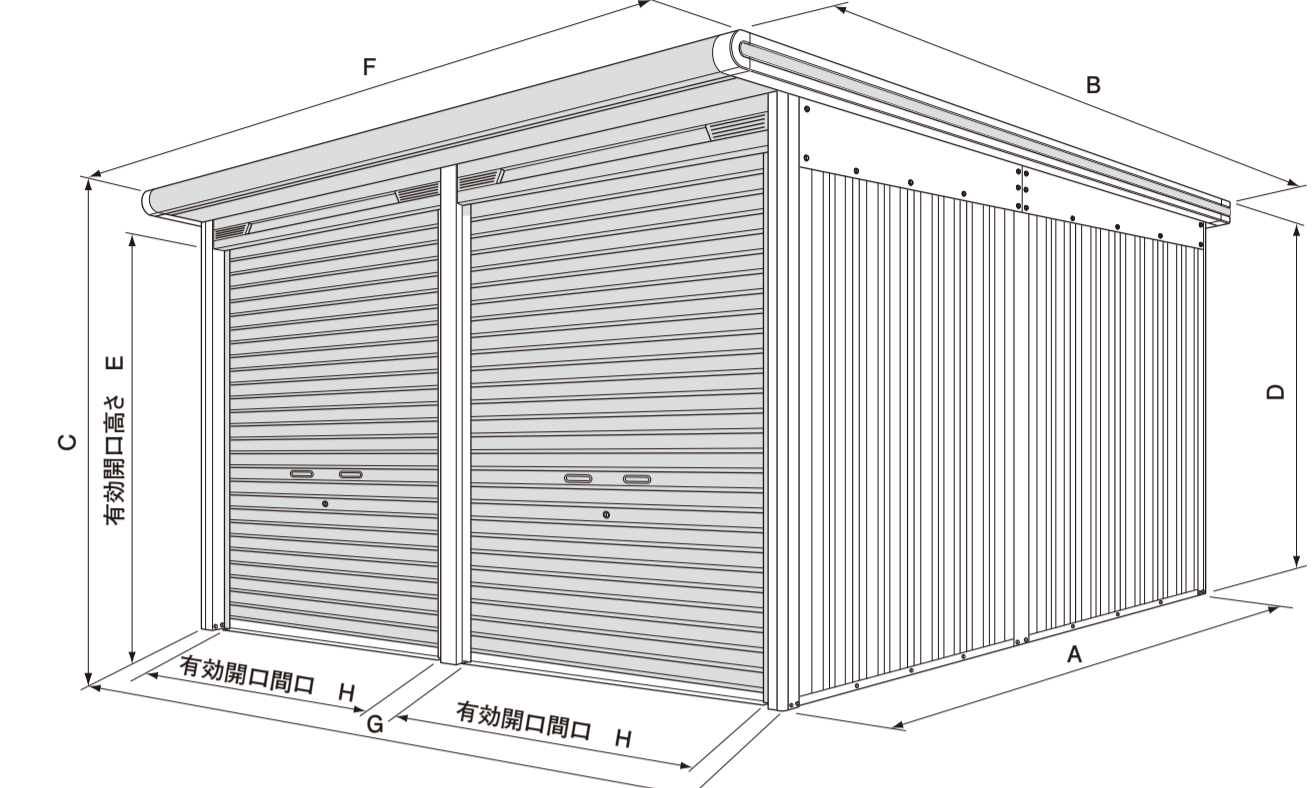


ヨドガレージ ラヴィージュ III (豪雪地型) 組立説明書

VGCU-2652 (H) VGCU-2655 (H) VGCU-2659 (H) VGCU-2662 (H)
 VGCU-3052 (H) VGCU-3055 (H) VGCU-3059 (H) VGCU-3062 (H)
 VGCU-3352 (H) VGCU-3355 (H) VGCU-3359 (H) VGCU-3362 (H)

この組立説明書は、ガレージを安全に組立てていただくために、重要な事項を記載しています。施工前に必ずお読みください。また、部品箱の中の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。本文は、2連棟タイプを基準にしていますが単棟タイプ、3連棟以上手順は同様です。



機種名	奥行き (mm)		高さ ()内はHタイプ (mm)		巾 (mm)			
	A	B	C	D	E	F	G	H
VGCU-1952	5,220	5,550	2,349 (2,589)	2,155.5 (2,395.5)				
VGCU-1955	5,570.5	5,900.5	2,348.5 (2,589)	2,156 (2,396)	1,891.5 (2,131.5)			
VGCU-1959	5,921	6,251	2,348 (2,589)	2,157 (2,397)		1,866.5xH+165	1,866.5xH+85	1,678.5
VGCU-1962	6,271.5	6,601.5	2,348 (2,589)	2,157 (2,397)				
VGCU-2652	5,220	5,550	2,349 (2,589)	2,155.5 (2,395.5)				
VGCU-2655	5,570.5	5,900.5	2,348.5 (2,589)	2,156 (2,396)	1,891.5 (2,131.5)			
VGCU-2659	5,921	6,251	2,348.5 (2,589)	2,156.5 (2,396.5)		2,567.5xH+165	2,567.5xH+85	2,379.5
VGCU-2662	6,271.5	6,601.5	2,348.5 (2,589)	2,157 (2,397)				
VGCU-3052	5,220	5,550	2,349 (2,589)	2,155.5 (2,395.5)				
VGCU-3055	5,570.5	5,900.5	2,348.5 (2,589)	2,156 (2,396)	1,891.5 (2,131.5)			
VGCU-3059	5,921	6,251	2,348 (2,589)	2,157 (2,397)		2,918xH+165	2,918xH+85	2,730
VGCU-3062	6,271.5	6,601.5	2,348 (2,589)	2,157 (2,397)				
VGCU-3352	5,220	5,550	2,349 (2,589)	2,155.5 (2,395.5)				
VGCU-3355	5,570.5	5,900.5	2,348.5 (2,589)	2,156 (2,396)	1,891.5 (2,131.5)			
VGCU-3359	5,921	6,251	2,348 (2,589)	2,157 (2,397)		3,268.5xH+165	3,268.5xH+85	3,080.5
VGCU-3362	6,271.5	6,601.5	2,348 (2,589)	2,157 (2,397)				

n:連棟数

設置場所の制限

- 注意** ●大屋根からの雨水や、雪が直接ドトガレージの屋根に落ちる場所には設置しないでください。
- 注意** ●崖のふち、風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
- 注意** ●給湯器の前には設置しないでください。

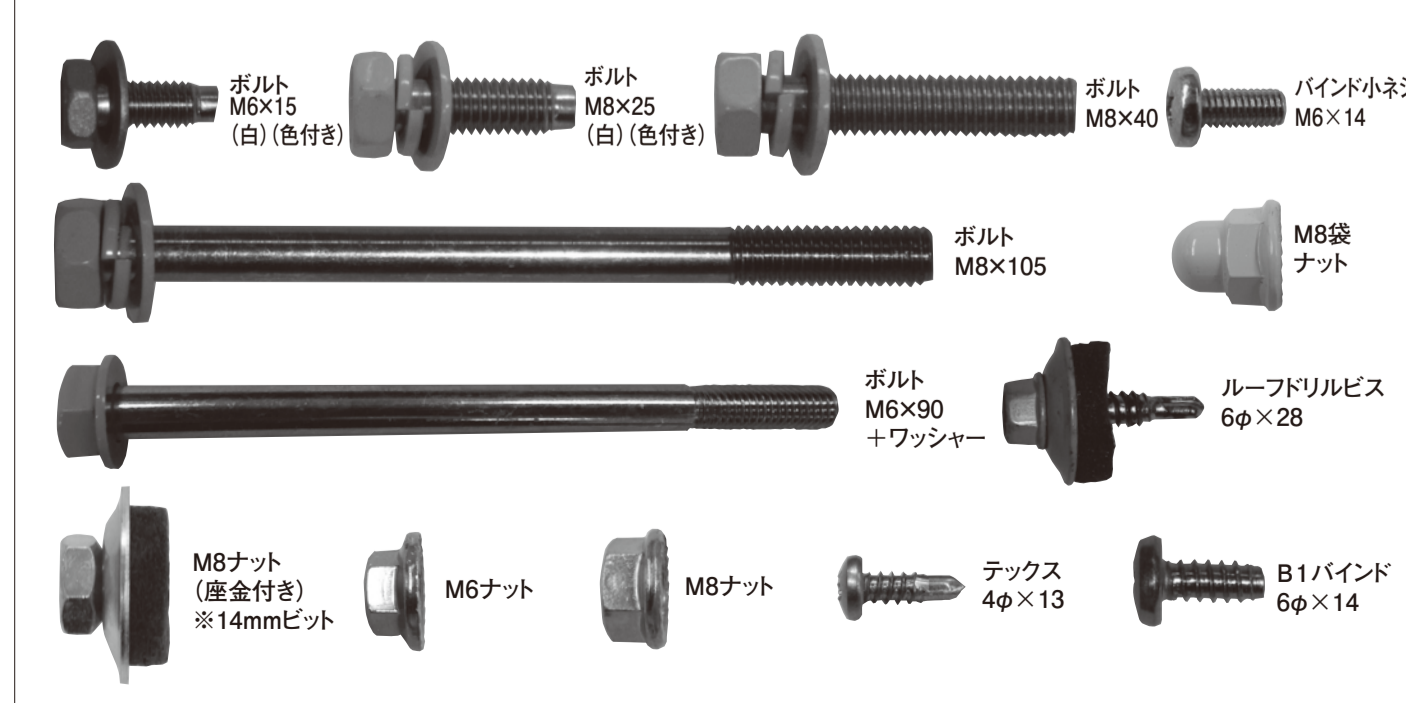
施工全般

- 注意** 施工の際には、次の点を必ず守ってください。
- 組み立ては専門業者に依頼ください。
- ブロックでの基礎は絶対におやめください。強度確保のため、鉄筋入りの布基礎としてください。
- 施工前に必ず布基礎の水平を確認してください。水平がでない場合、ガレージの建付けが悪くなります。
- 強風時や雨天時の組立ではおやめください。
- 高所での組立となりますので、足場板、安全帯などを使用して、作業時の安全には、十分注意してください。
- 重量物・長尺物は運搬・据付の際に複数人数で行い、振り回したり、落としたりしないよう、注意してください。
- 安全のため、手袋をして組立てを行ってください。
- ボルトは口に入れないでください。

屋根の施工

- 注意** ●屋根の上がる場合は、転倒、転落等に十分注意してください。
- 注意** ●屋根の重ね部を締結するまで、重ね部には絶対に乗らないでください。

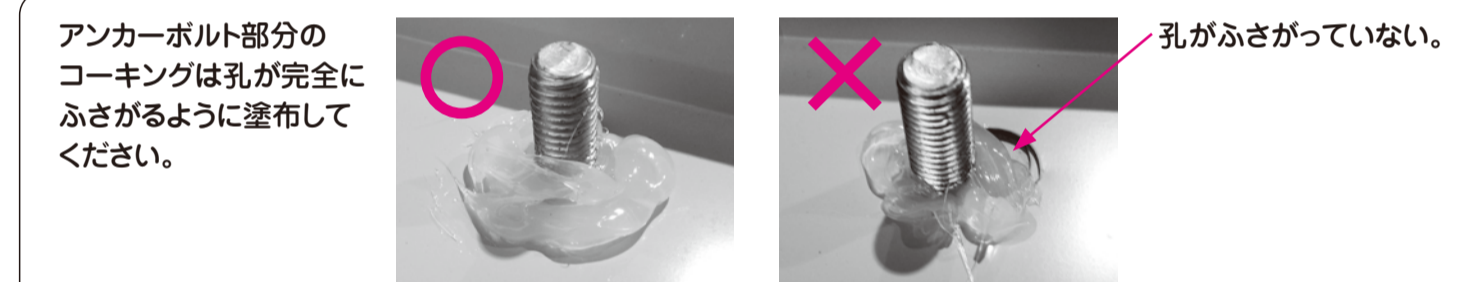
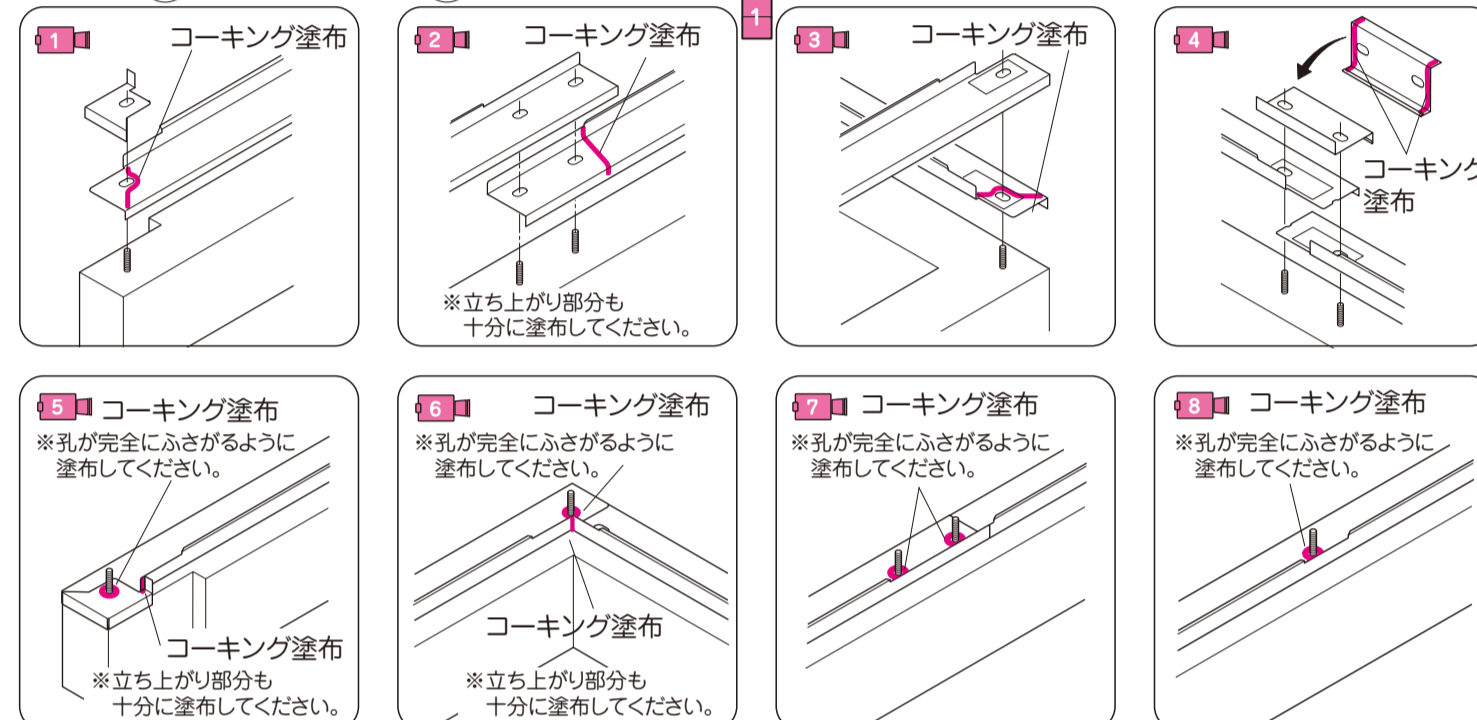
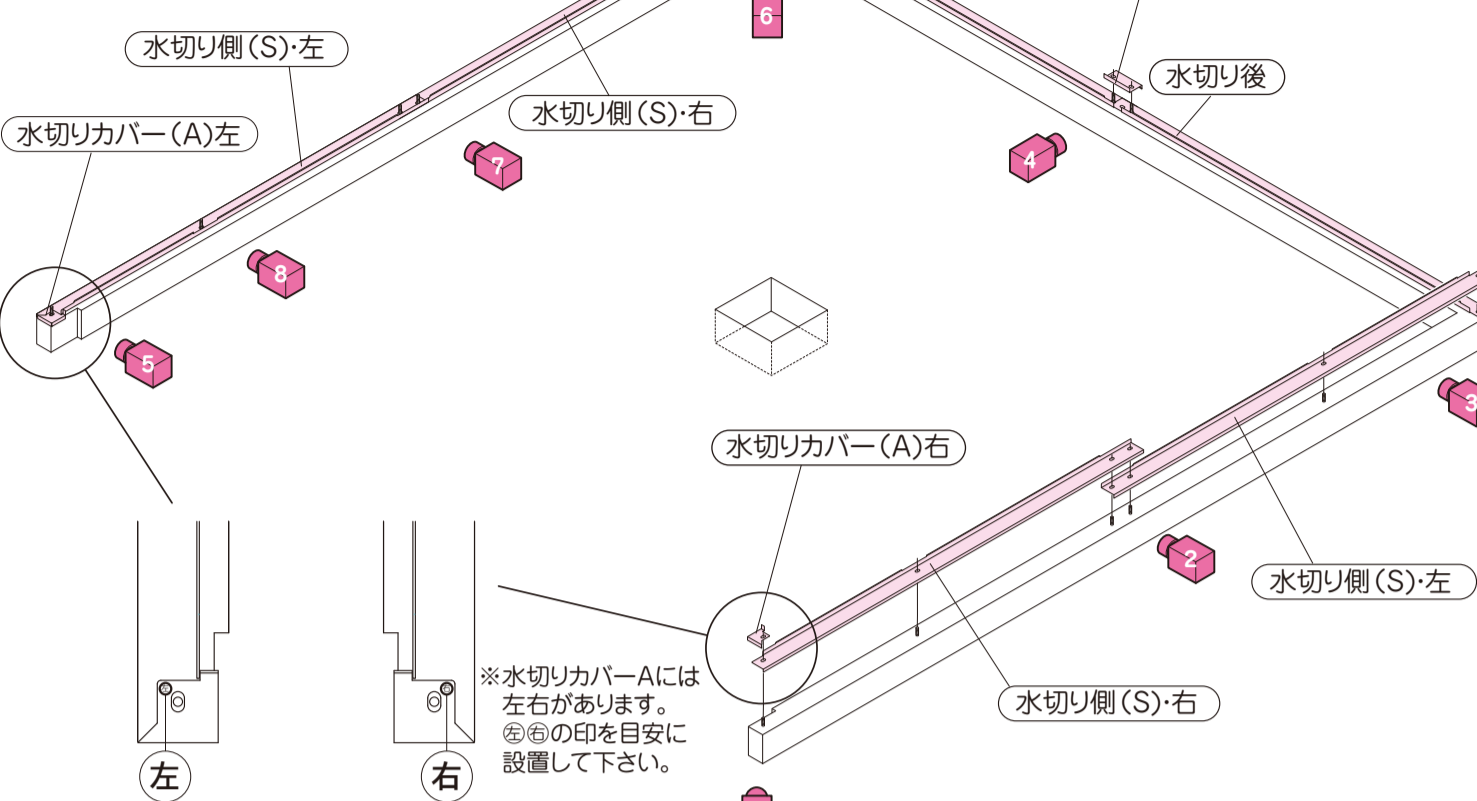
- 組立てに必要な特殊工具 ・口幅14mmビット(屋根固定用) ・口幅21mmビット(アンカーボルト固定用)
- 使用ビス一覧 ・3番手プラスビット(フレーム固定用) ・ペンチ(シャッターカシメ用)



1 水切りの設置

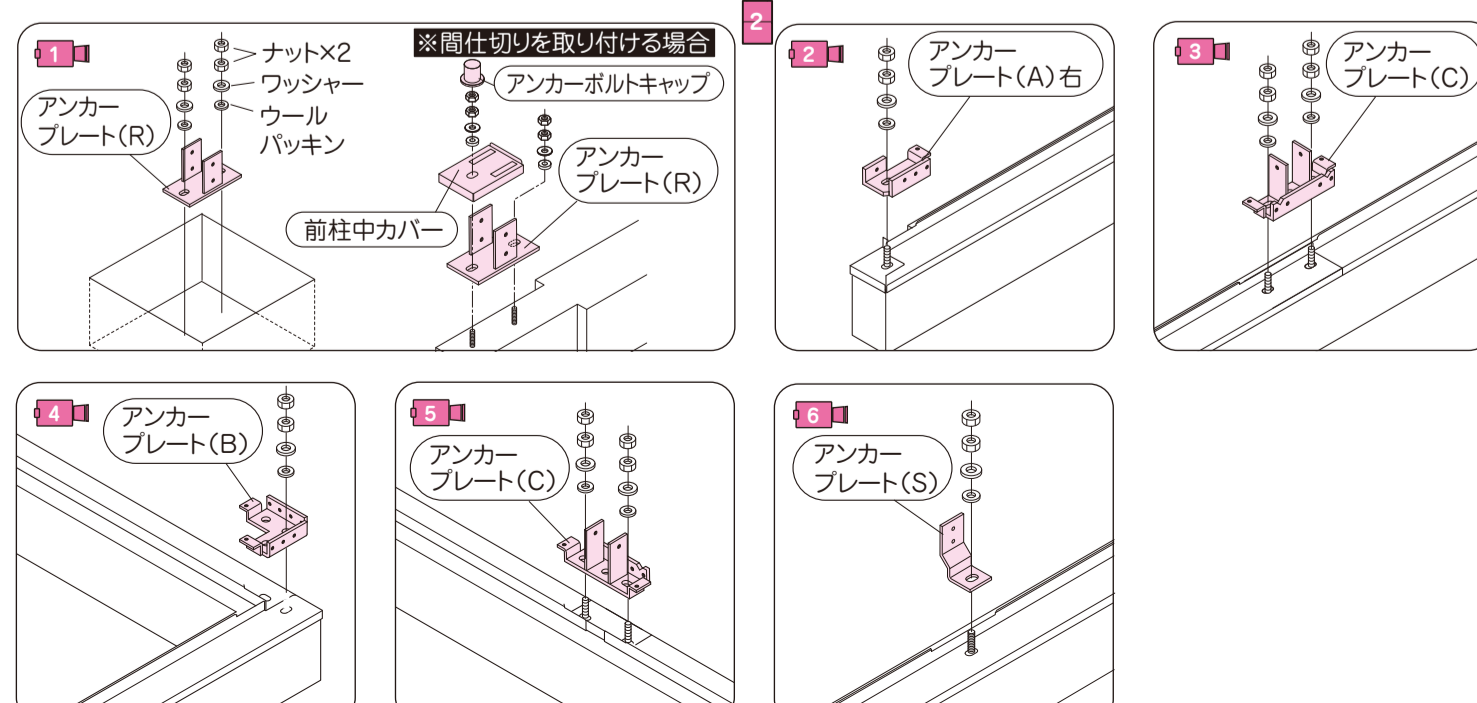
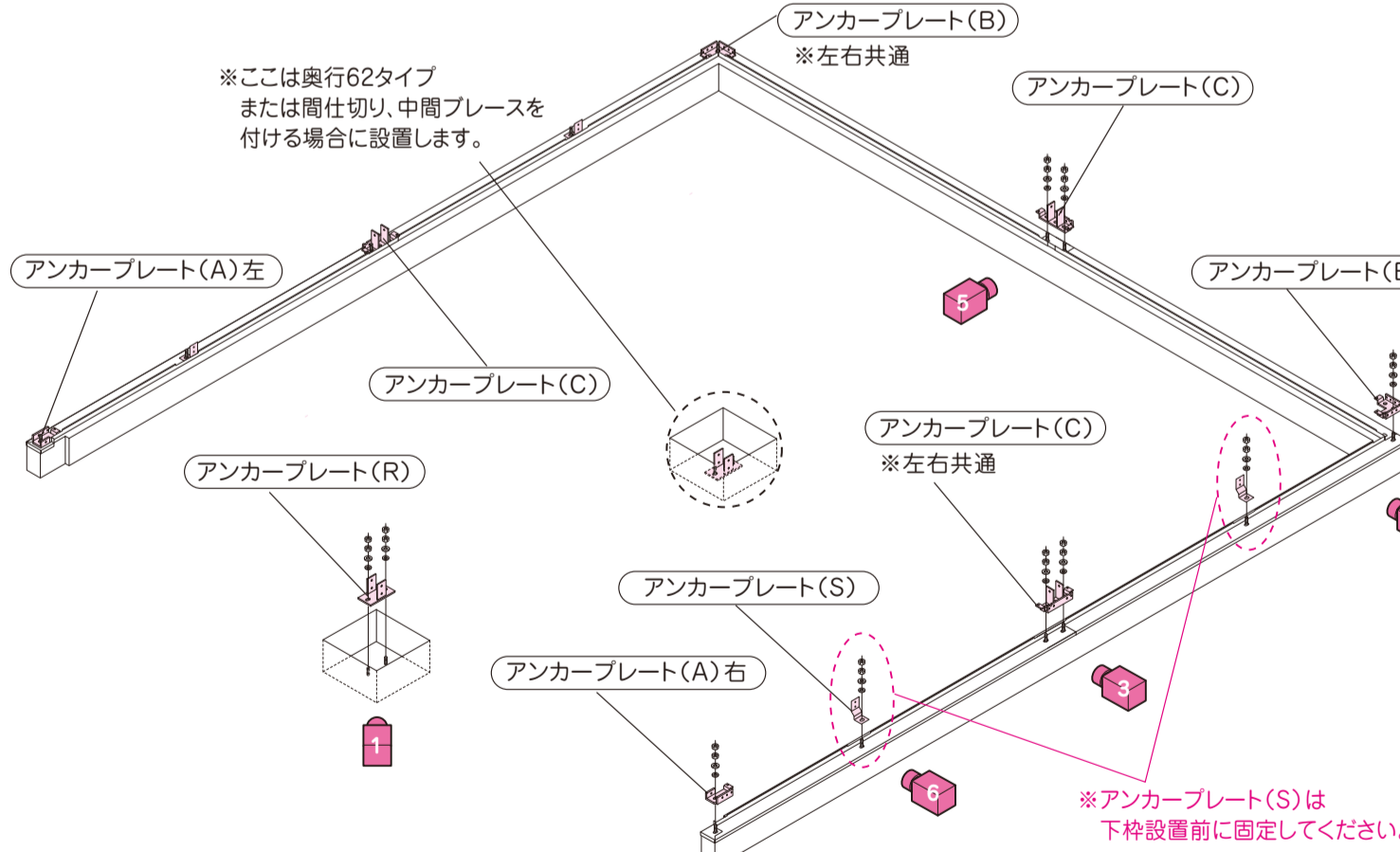
- 水切りを基礎に設置します。(水切り後・水切り側)にはシールが貼ってありますので必要な孔を切ってください。
- 水切りの重ね部、アンカーボルト周辺にコーキングを施します。

注意 コーキングが不十分だと雨水等が庫内に浸入しますのでしっかりと塗布してください。



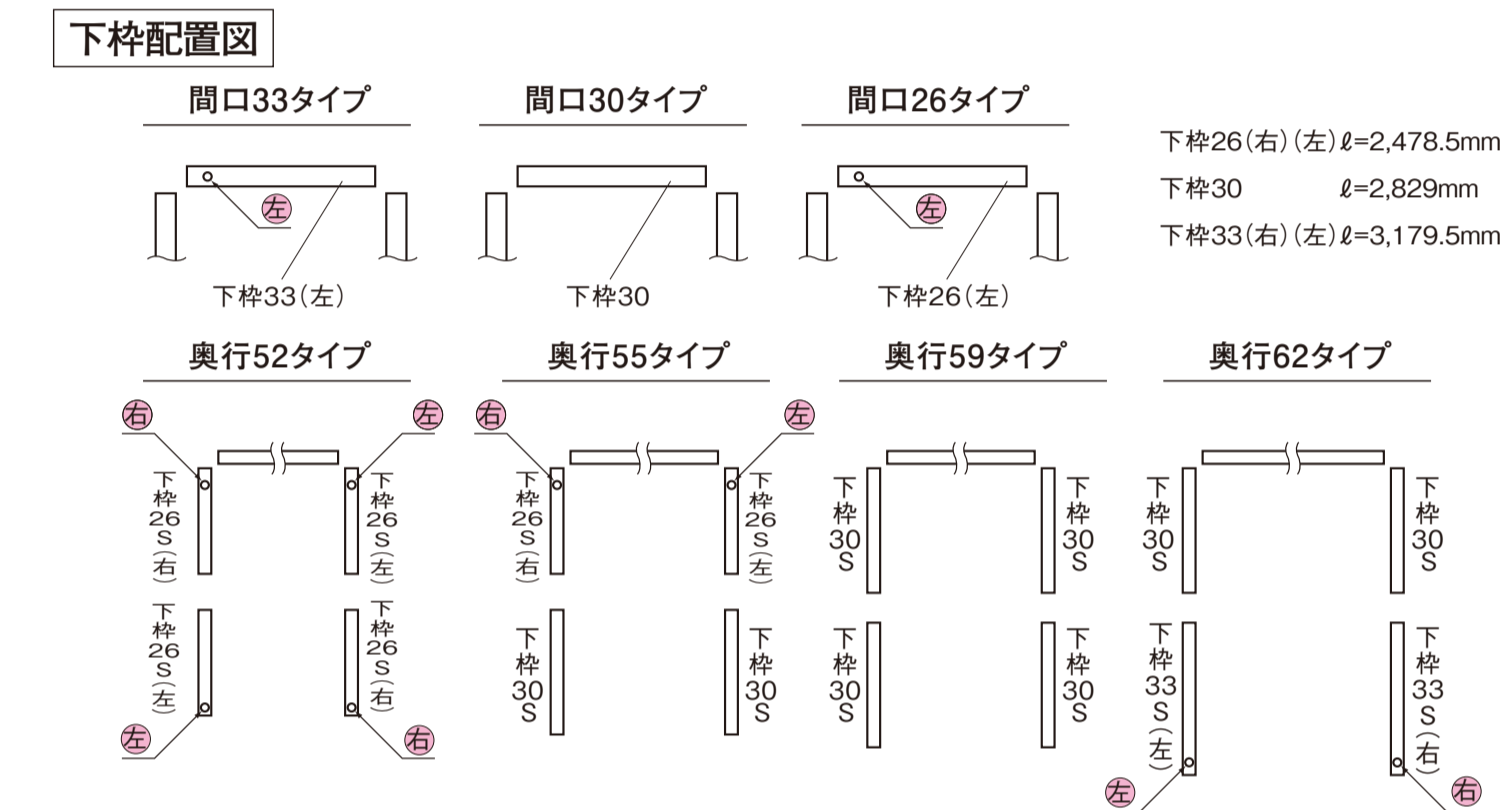
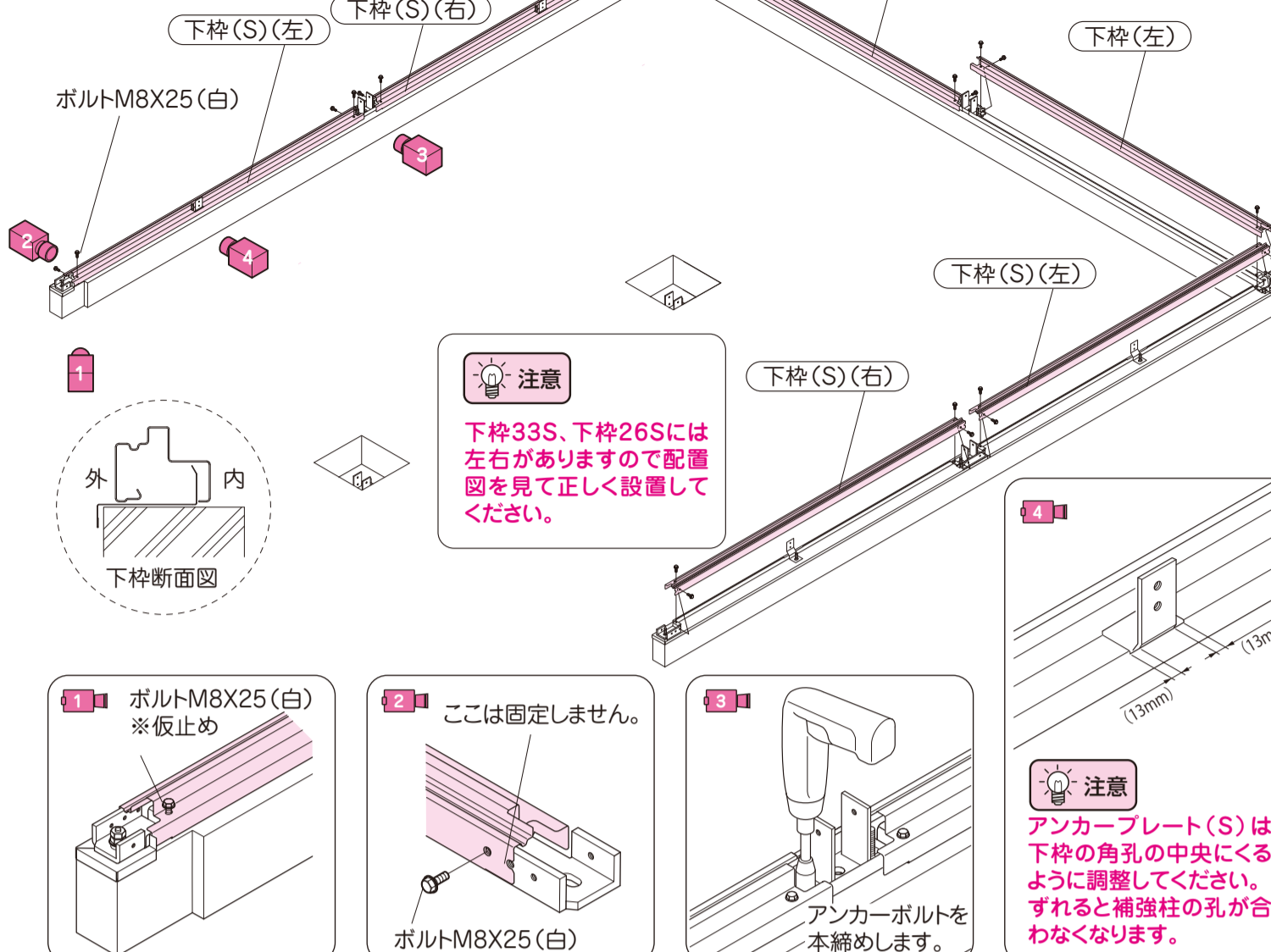
2 アンカープレートの取付け

- アンカープレート(R) をアンカーボルトに仮止めします。 ※本締めは下枠設置後に行います。 ※奥行き62タイプの梁補助柱用の(アンカープレート(R))は梁補助柱梱包に入っています。
- オプション間仕切りを取り付ける場合は(前柱中カバー)をアンカープレート(R)に設置して固定し、アンカーボルトキャップを被せます。



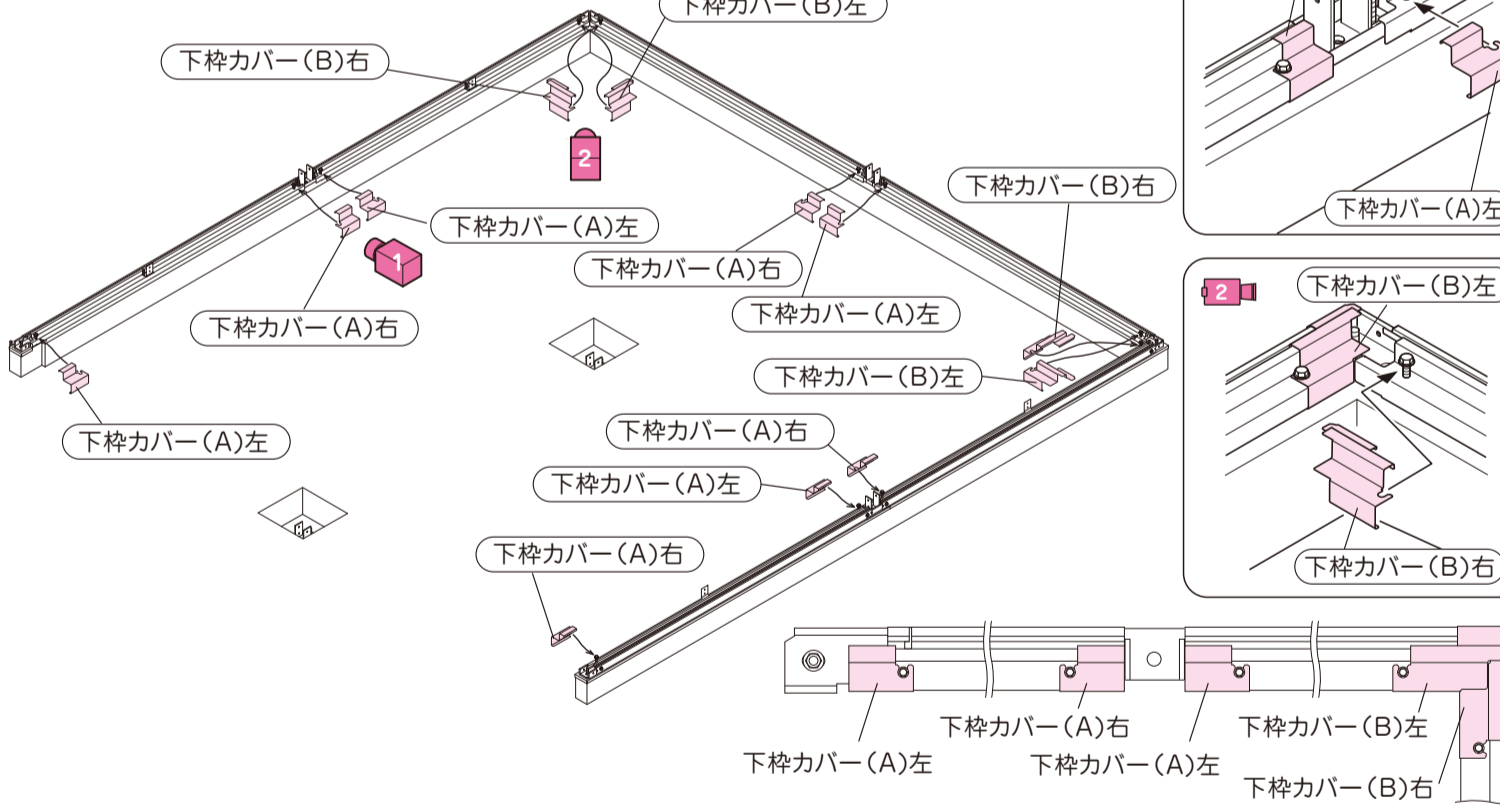
3 下枠の取付け

- 下枠(S)を下側の配置図に従って配置しアンカープレートに固定します。下枠上部のボルトは仮止めします。
- アンカーボルトを本締めします。



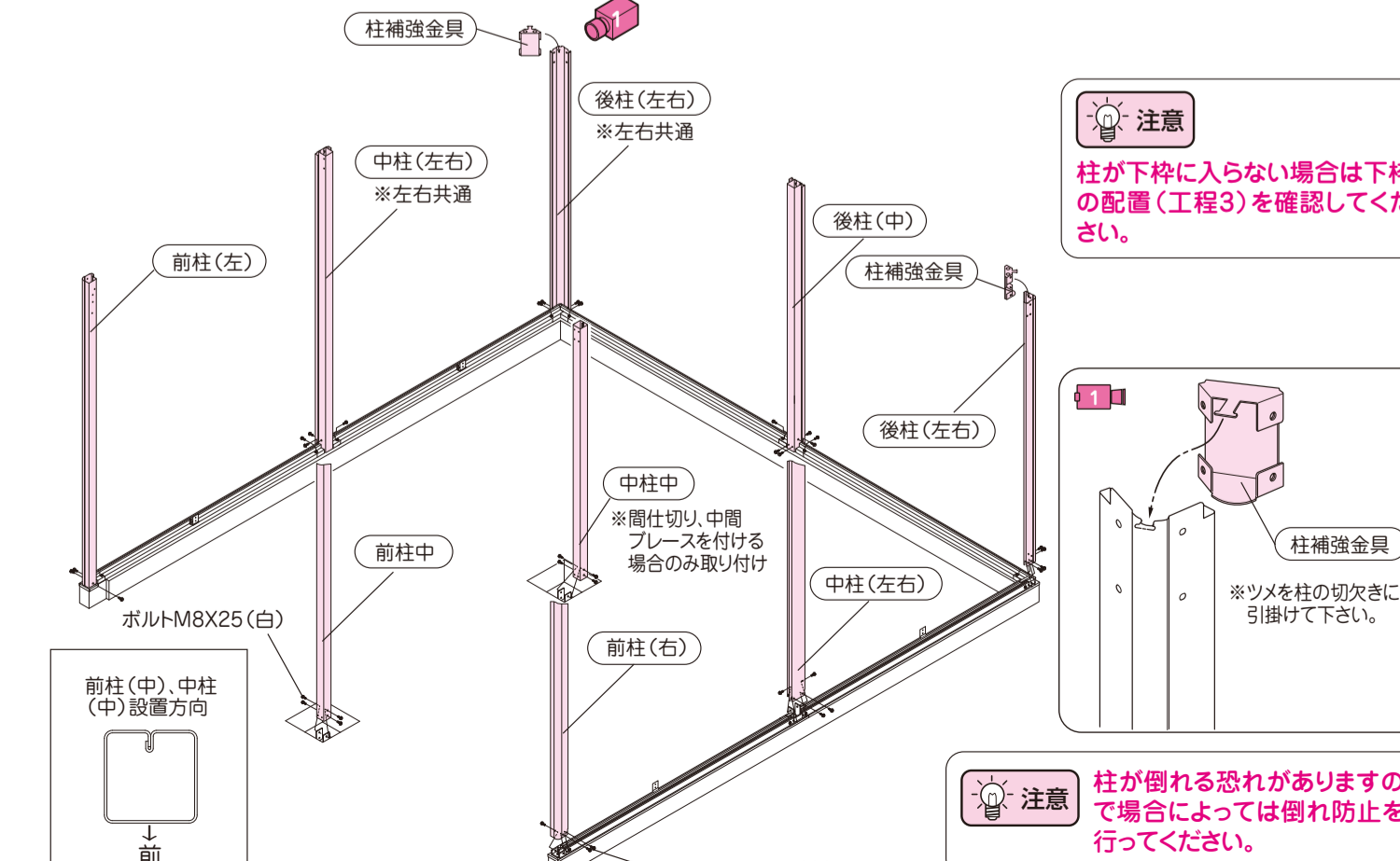
4 下枠カバーの取付け

- 下枠カバーを下枠に取り付けます。
- 仮止めたボルトを締め付けて固定します。



5 柱の取付け

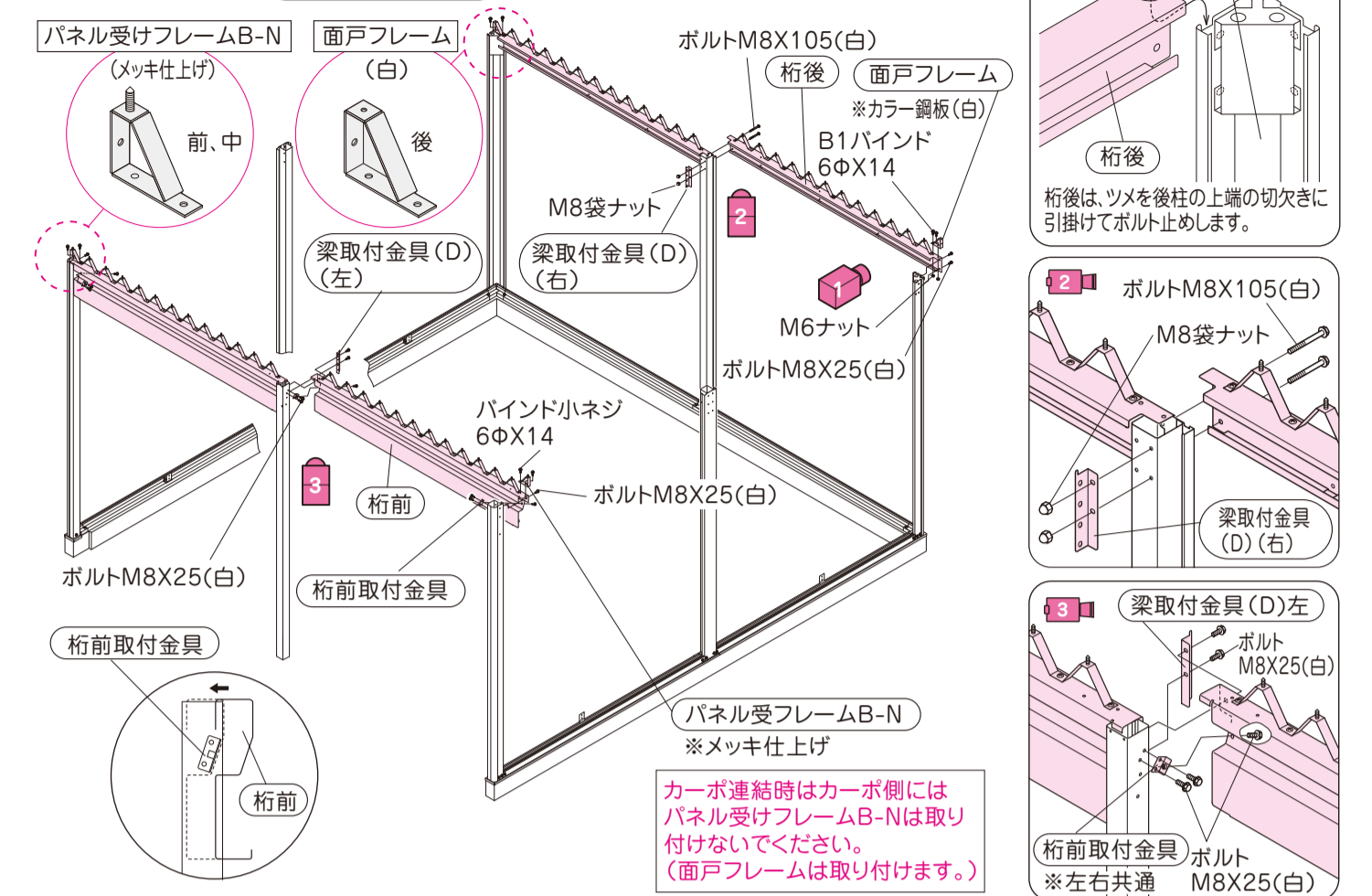
- 柱をアンカープレートに取り付けます。
- 柱補強金具を後柱(左右)に取り付けます。



6 桁の取付け

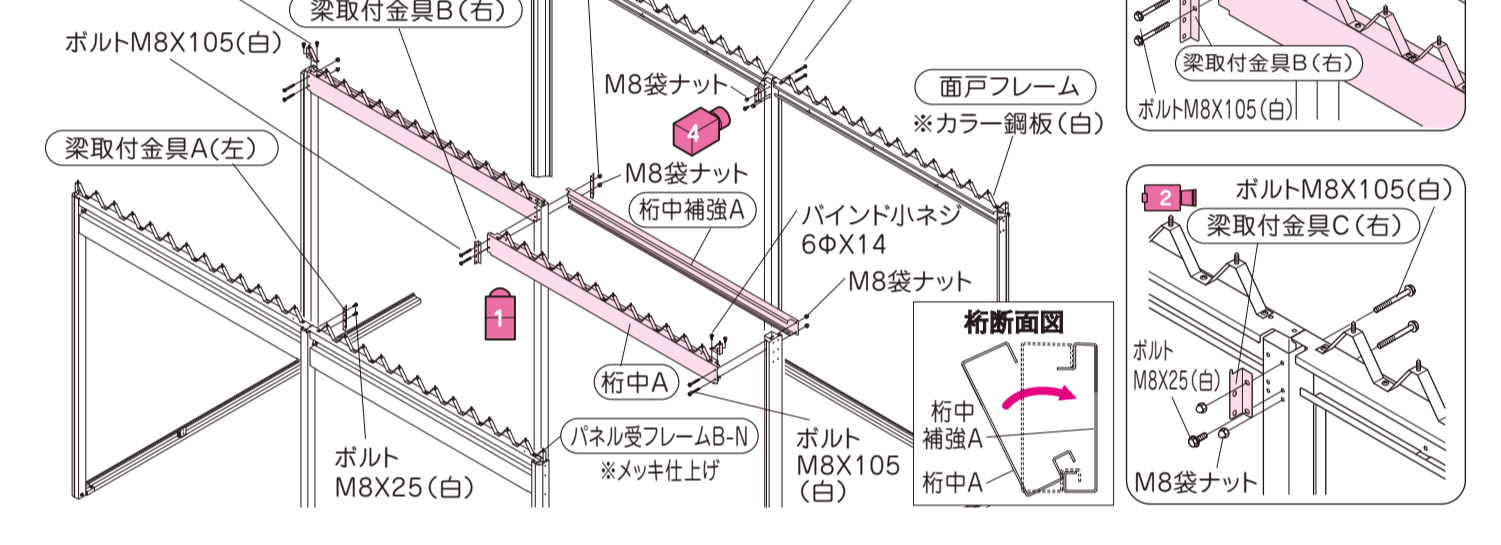
注「目隠し」を取り付ける場合、桁前は専用部品になります。「後面シャッター」を取り付ける場合、桁後は専用部品になります。

- 桁前取付金具を柱前に取り付けます。(金具に左右はありません)
- パネル受けフレーム(B-N)を桁前、(面戸フレーム)を桁後の両端に取り付けます。
- 桁前、(桁後)を柱に取り付けます。
- ※連棟の場合、(梁取付金具(D))を前柱中、後柱中に桁と同時に取り付けます。



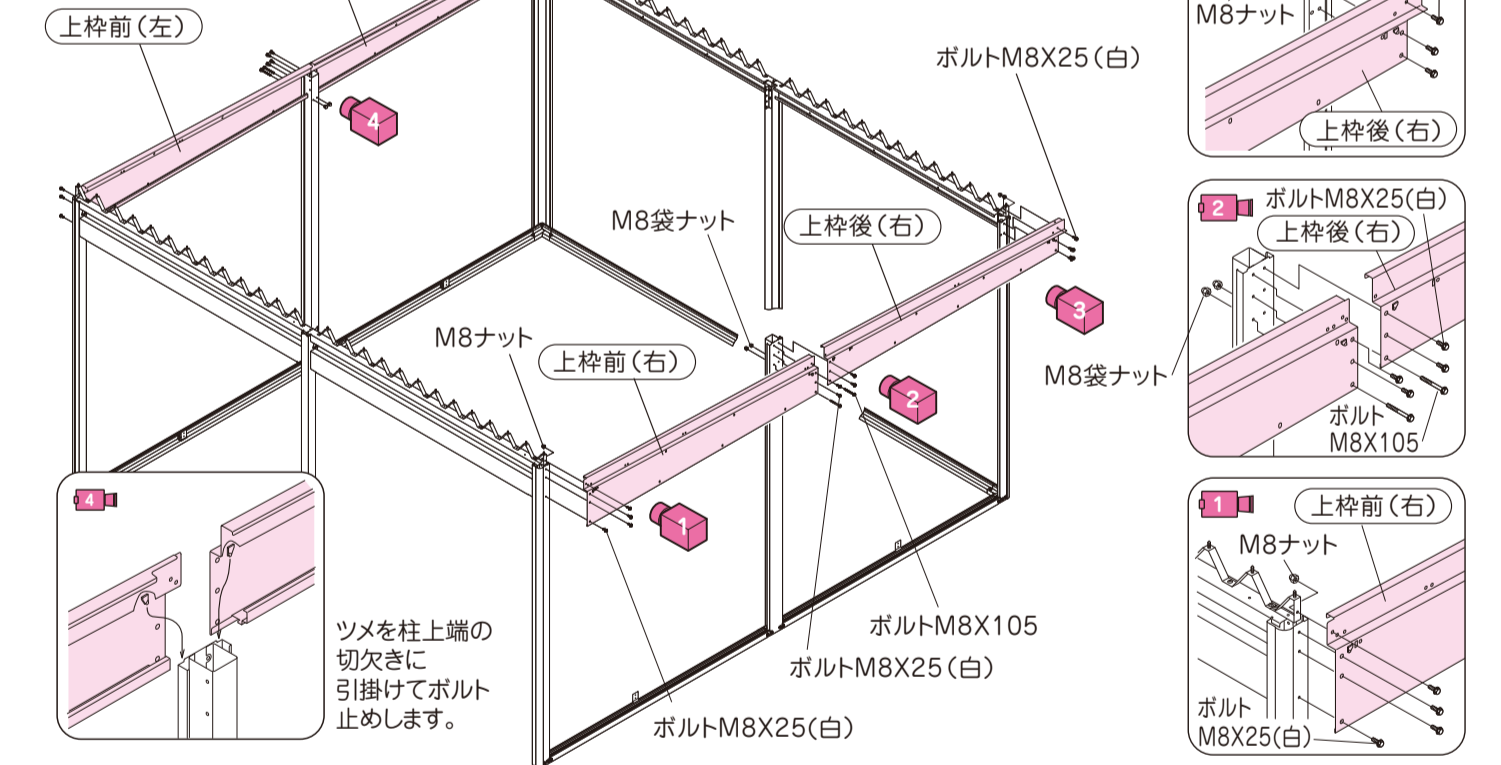
7 桁中の取り付け(単棟・間仕切り・中間ブレース付きの場合)

- パネル受けフレーム(B-N)を桁中の両端に取り付けます。
- (桁中補強A)を先に中柱に載せ(桁中A)をかぶせるようにして取り付けます。
- 連棟の場合、(梁取付金具(A)(B)(C))を桁前、桁中、桁後それぞれ同時に取り付けます。 (パネル受けフレームB-N) ※メッキ仕上げ



8 上枠の取付け

- 上枠前と上枠後を柱に取り付けます。 ※上枠上部には部材共通化のため、使用しない孔が空いています。相手の無い孔はボルト固定不要です。



9-1 梁の取付け(1本梁の場合)

- 梁取付金具(D)が正面に向かって右側のみ取り付けられていることを確認します。
- (梁(右))→(梁補強(A))→(梁補強(B))→(梁(左))の順番で柱に載せます。
- 梁取付金具(D)を柱に取り付けて梁と固定します。
- (桁取付金具左(右))を梁に取り付けます。
- (パネル受けフレームA)・(面戸)を桁前・後の連結部に取り付けます。

